

# 温故知新

いよいよ『近江日野の歴史』第五巻「文化財編」を刊行することになりました。今回は、各巻に付いているCD-ROMについてご紹介いたします。

## 本文の内容を

### より深めるために

すでに刊行しました第一巻「自然・古代編」をご覧になったことのある皆さんは、本の裏見返しにCD-ROMが付録されていることにお気づきだと思います。

CD-ROMが各巻につくというスタイルは、『近江日野の歴史』の大きな特色です。

CD-ROMは、各巻の本文の理解を助けるために役立つのももちろん、それ自体でも十分に楽しめるように作られています。

ここには、本文に掲載された

## 豊富な写真で見

### 文化の精華

CD-ROMの特色の一つ目はカラーで見られる写真の豊富さです。CD-ROMでは、絵画や曳山の鮮やかな色使いをカラーでお楽しみいただけます。これら本文よりも大きな画像で見られるのはCD-ROMならではの特色です。とくに、仏像や曳山の本彫刻・飾金具・幕については、その代表的なものを収録し、平安く江戸時代にわたる日野の文化の豊かさを知ることができます。

## 図面からよむ匠の技

二つ目の特色は、各種の文化財について、実測図や拓本など図面を多く収録していることです。石造品については、本文で紹介されたほぼすべての石造品の拓本を収録しました。

また、曳山については、本文では小さな図面しか載せられなかった各町曳山の実測図をCD-ROMにも再録しています。これにより、豪華絢爛な飾金具や木彫刻の細密な彫刻を大きな画面で見ることができ、それぞれの曳山が日野の町の培った文化的水準の高さを示していることが分かります。

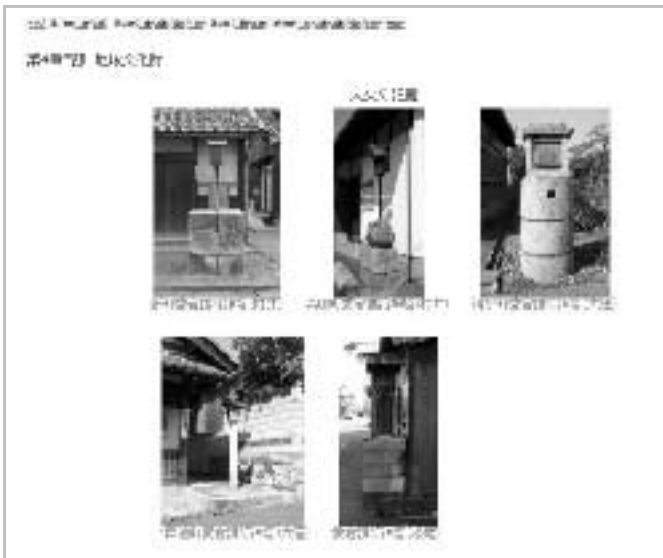
## データから学ぶ

### 調査の成果

三つ目の特色は、専門的な調査の結果からさまざまな日野の文化財の特色をたどることができる点にあります。

CD-ROMでは、本文に載せることができなかつた曳山の金具や幕、日野椀・宗教建築の調査(専門的な調査のデータなど)を収録しました。これらを手がかりに、個別の文化財についてさらに知見を深めることもできます。

このように、多くの特色をもつ「文化財編」は一冊四、〇〇〇円(税込)です。日野町の文化財を網羅したこの一冊をぜひお買い求めください。



▲付録CD-ROMの画面(「地域文化財」で取り上げた愛宕護符神塔)

また、CD-ROMは、本文と対応するよう、章・節・項ごとにまとめました。使う人にとっては、本文を読んで関心をお持ちになった分野をどこからでもご覧になることができます。